

東京

公益財団法人 日本漢字能力検定協会主催 無料講演会

「漢字の面白さ、懐の深さ」のご案内

～早稲田大学 笹原教授、文化庁 武田国語調査官をお迎えして～

時下、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

学力の基礎、すべての教科学習の土台となる日本語能力。貴校の先生方も、日頃より生徒の国語学習指導を熱心になさっていることと存じます。

この度、8月10日に東京都で「漢字」をテーマにした無料の講演会を開催します。早稲田大学の笹原教授、文化庁の武田国語調査官をお迎えし、笹原教授には「漢字の形 ～漢字をどう書かか～」、武田国語調査官には「『常用漢字表の字体・字形に関する指針』についての報告」というテーマでご講演いただきます。講演会の第四部では、お二方との質疑応答の時間をご用意しております。

「子どもたちの興味喚起に使っていただけるような情報を先生方にお届けしたい」と、現在準備をすすめております。限られたお時間、限られたお席となりますが、先生方のご参加をお待ちしております。

## 講演会概要

■日時:2016年8月10日(水)13:00～15:30 (12:00受付開始)

■参加費:無料(事前申込制)

■会場:千代田区立内幸町ホール ※地下鉄『内幸町駅』A5出口・各線『新橋駅』より徒歩5分

■定員:150名

注)定員以上のお申し込みを頂戴した場合は抽選とさせていただきます。お申込確定のご連絡は、メールアドレス宛の参加票送信をもって代えさせていただきます。※7月末頃を予定しています。

第一部(40分):早稲田大学 笹原宏之 教授 講演

「漢字の形 ～漢字をどう書かか～」

第二部(40分):文化庁 武田康宏 国語調査官 講演

「『常用漢字表の字体・字形に関する指針』についての報告」

～休憩(15分)～

第三部(20分):公益財団法人 日本漢字能力検定協会 検定・編集部 部長 八田香里

「『日本漢字能力検定(漢検)』の採点について」

第四部(30分):笹原教授、武田国語調査官による質疑応答 ※当日、第二部終了後に質問票を回収いたします。

## 講師紹介

### 【早稲田大学 笹原宏之 教授】

1965年東京生まれ。博士(文学)。専門は日本語と文字。早稲田大学第一文学部中国文学専修卒、同大学院文学研究科日本文学専修修了。文化女子大学専任講師、国立国語研究所主任研究官などを務めた。経済産業省「JIS漢字」、法務省「人名用漢字」、文部科学省「常用漢字」、日本放送協会NHK用語の制定、『新明解国語辞典』『日本語学』『中学国語教科書』の編纂、日本漢字能力検定協会漢字文化研究奨励賞の審査に委員として携わる。著書に『日本の漢字』(岩波新書)『訓読みのはなし』(角川ソフィア文庫)『漢字の歴史』(ちくまプリマー新書)『日本人と漢字』(集英社インターナショナル)、編著に『当て字・当て読み 漢字表現辞典』(三省堂)他があり、『国字の位相と展開』(同)により金田一京助博士記念賞受賞。

### 【文化庁 武田康宏 国語調査官】

1966年東京生まれ。文化審議会国語分科会における「常用漢字表」改定(2010年)、『異字同訓』の漢字の使い分け例(報告)(2014年)の取りまとめ等に携わる。現在「常用漢字表の字体・字形に関する指針」を担当。そのほか、「国語に関する世論調査」や文化庁広報誌(旧「文化庁月報」、現「ぶんかる」)に連載中の「言葉のQ&A」の執筆等に従事。

参加をご希望の方は、2枚目の申込書に必要事項をご記入のうえ、

FAX番号03-5205-0331までご返信をお願いいたします。

**申込締切:2016年7月20日(水)必着**

※「夏休みの予定がまだ定まらない」というお声をいただき、申込締切を7月8日(金)から延長いたしました※

